

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2018年3月)

平成30年5月  
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 6日、ブハジャ国民議会議長は「世界女性の日」を前に、2016年改正憲法は、女性の地位強化等により国家の再興を目指し、下院における女性議員の割合は3割に達し、女性は、経済開発や治安維持に重要な役割を果たしていくと声明。
- 11日、教員の待遇改善を巡って国民教育省と教員組合代表が会談するも、両者は歩み寄らず物別れとなった。ベンゲブリ国民教育大臣は「組合が決めて教育省が実施する時代は終わった」と述べた。研修医の待遇改善を求めて代表が高等教育・科学研究省と面談するも物別れに終わり、研修医側は集団辞職の可能性を示唆。
- 12日、アイサ宗教・ワクフ大臣は、ムシラ県ブディヤーフ大学での「精神的教育が社会の調和と非宗教性の促進に与える影響」に関する第2回会合にて、「イマームたちは、ヘイト・スピーチ等の社会悪に対する重要な役割を有し、「暗黒の20年」において宗派主義に対抗した導師達12名が殉死した」旨、10日、当国に来訪した米軍のハイレベル代表団に紹介したと述べた。
- 13日、ブハジャ国民議会議長は「国家経済強化における軍事産業の中核的役割」に関する同議会におけるセミナーにて、「当国の軍事産業は兵器輸入額を減じ、国庫の外貨準備の保持に貢献している」旨述べた。国軍大佐らは、「軍事産業に対する外国の直接投資は、10億ドルに達し、バスやトラック等、2019年の本分野の活動費は1千億ディナールに達し、3万の新規雇用を創出し、全国の軍需企業数は10社、持ち株会社は12社及び40の工場となっている」旨述べた。
- 14日、ブーテフリカ大統領は閣議を主宰し、炭化水素の採掘と運営に関する契約の変更に係る大統領令4件、及び毎年策定されている3年間の予算枠組みについて、現行より予測可能性を高めるように規定する「予算法に係る国家組織法」案等を承認した。
- 1日付報道によると、ベンユニス・アルジェリア民衆運動(MPA。国民議会に13議席を有する第8政党)党首(元商業相)は、「2014年大統領選挙時に自分はブーテフリカ大統領の選挙運動幹部であった。同選挙時に同大統領は病気であったにも拘わらず国民は同大統領を選出した。今は4期目の任期中であり、5選については適切な時期に大統領が決めるだろう」旨述べた。

## 2 外交

- 4日、アブドルアジーズ・サウジ内相は、ベドウィ内相及びブルー司法相の招待による6日までの公式訪問のため、アルジェ空港に到着し、両大臣に迎えられた。5日、同内相はブーテフリカ大統領表敬をはじめ、関係閣僚他と個別に会談し（後掲の表参照）、司法省の国家情報システムセンター、警察庁の国家治安コントロール・指揮センター及び憲兵隊の国家刑事証拠・犯罪科学センターを視察（司法相、ハメル警察庁長官、ヌーバ憲兵隊司令官がそれぞれ同行）。
- 7日、2日間の予定でアルジェにて開催されたアラブ内相会議第35回会合が、急きょ1日のみで閉会となった。本内相会合においてサウジ内相及びカターール内相等はそれぞれが演題に立った際に会場から退場した。閉会にあたっての声明は、広範な課題について合意に至らず、アルジェリアの経験についてテロを根絶するモデルとして承認したのみ。
- 10日、ファキAUC委員長は初の公式訪問のためアルジェに到着。第31回AU総会にて決定されたアフリカ大陸自由貿易圏（ZLECA）、アフリカ旅券議定書及び航空輸送共通市場機構という壮大なプロジェクトにつきアルジェリア政府と協議。21日からキガリ（ルワンダ）にて開催予定のAU臨時総会の成功に向けた努力を強調。
- 15日、来訪したコロン仏内相はベドウィ内務・地方自治・国土整備大臣と会談し、地方分権と経済開発におけるガバナンス等について両国の県知事らが同席し、協議した。アイサ宗教・ワクフ大臣とも会談し同大臣はアルジェリア人イマーム（集団礼拝導師）は欧州に150人、その内、仏には100人が滞在しており、中庸なイスラムを促進している旨述べた。
- 20日、ウーヤヒヤ首相はメサヘル外務大臣及びベンメラディ商業大臣と共にキガリに到着。21日、AU臨時総会にてアフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）に署名したが、「ヒトの自由移動にかかる議定書」については、不法移民に機会を与えないよう署名を延期。
- 23～26日、メサヘル外務大臣はブルガリア、セルビア及びクロアチアを訪問。外相会談の終わりにブルガリアでは、外交及び公用旅券所持者の査証免除、両国の公文書館並びに外交研究所に関する覚書3件に署名。セルビアでは、環境・持続的開発・再生可能エネルギー分野の覚書、及び青年・スポーツ分野の2018年から2020年までの協力プログラムに署名。クロアチアでは同国文化相と文化協力に係る合意に署名。

## 3 治安

- 国立麻薬対策局がまとめた薬物に関する2017年の統計によると薬物事犯

総件数32,952件（前年比+9.4%）及び逮捕者総数42,432人（前年比+12.8%）で共に2016年と比較して増加傾向にあることが分かった。押収薬物では、大麻樹脂、コカイン、ヘロイン、向精神薬が押収されており、大麻樹脂にあつては前年比51.7%と劇的に減少していた。これについて当局は「国境の取締りを強化した結果が出たもの」と述べた。

●憲兵隊によると2017年に発生した殺人・殺人未遂事件数は409件で死亡者は188人であったが、殺人・殺人未遂事件数は前年比1.7%減少と発表した。凶器は、主に刃物を使用され、事件の主な動機は報復、対立するグループ間の乱闘、家族内内紛であったと述べた。

●憲兵隊によると今年の交通事故件数は、10,605件（前年比27.3%減少）、死亡者2,913人（前年比11.8%減少）、負傷者数18,175人（前年比29.2%）であり、すべての面において減少傾向であることが分かった。憲兵隊は交通事故等の減少についてレーダー、覆面パトカー等を活用した違反取締りの結果が出たと述べた。また、県別交通事故数で多い県上位3県はアルジェ、ムシラ、セティフであった。

●米国コンサルタント会社MERCERは治安、ゴミ処理・管理、公共輸送等39項目で世界の首都231都市を調査した結果、アルジェリアは184位と発表した（最高位オーストリア、最下位イラク）。有識者は、同コンサルト会社のアルジェリアに対する低評価の要因は、大規模投資による地下鉄、路面電車等の公共輸送の実現や通信システムの整備もなされ改善されてきているものの高い失業率、犯罪増加傾向、頻繁な停電、劣悪な衛生管理（ゴミ処理等）であると述べた。

#### 4 経済

●1日、関税番号19.05に属する製品が輸入停止。ビスケット、菓子、パン、医薬品用カプセル等。

●3日、タフコート・グループのタフコート会長が、本年5月にサイダ県でスズキの自動車組立て工場を稼働させると発表。当初はアルトとスウィフトを生産予定。

●5日～6日、産業・鉱業省主催の「自動車部品下請け産業に関する専門会議（JT S V）」がエル・オラシーホテルで開催。ユースフィー産業・鉱業大臣が開会の挨拶及び展示会視察。

●6日、ソナトラック社のカドゥール会長は、テベッサ、スキクダ、スーカハラス、アンナバの各県で中国企業CETIC-CRR及びWENGFUとのパートナーシップで展開されるリン加工業を同社が請負い、60億ドルの投資を行うと発表。

- 6日、米経済誌フォーブスが発表した「世界長者番付」で、レブラブ・セヴァイタル会長が資産40億ドルでアルジェリア人として唯一、第550位にランクイン。アフリカ大陸では第6位。
- 6日、グローバル・グループ（GGA）と韓国企業GDHが自動車産業における人材育成及び1000社のマイクロ下請け企業を整備するための協定を締結。
- 12日、アフリカ開発銀行が北アフリカ地域の2018年の経済予測に関する報告書を公表。アルジェリアに関し、エネルギー分野への補助金の削減や嗜好品への課税強化等を通じた石油関連以外からの歳入を増加させる政策の必要性を指摘。
- 21日、国家統計局（ONS）が、2018年2月までの12か月のインフレ率を4.9%と発表。2か月連続の低下。特に食料品の低下が顕著。
- 21日、ギトゥーニ・エネルギー大臣がブイラで、将来的にガス及び電気料金の値上げは不可避との見方を表明。一方で、値上げはまだ議題には上っていないとも発言。
- 25日、アルジェリア中央銀行の報告書の内容を各紙報道。それによると、2017年のアルジェリアの国際収支の赤字は217億6千万ドル。2016年より約40億ドル減少。特に貿易赤字は前年比29%減。
- 25日～28日、オランで第8回北アフリカ石油・ガス会議（NAPEC）が開催。北アフリカ地域以外からも仏、西、トルコ、アラブ首長国連邦、イラン、マリ、印、中、米が出展者として参加。記者会見の際にギトゥーニ・エネルギー大臣が炭化水素法の最初の改正案が7月に策定されると言明。

## 5 日本との関係

- 19日、北川公使参事官はアルジェで開催された国連薬物・犯罪事務所（UNODC）主催の「文書不正との闘い：不審旅行者のためのプロファイリング技術及び指標」セミナーの開会式に。日本のアフリカの平和と安定への貢献に関しスピーチ。

### <アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
3月1日	チュニジア	エッダリア国民連帯・家族・女性大臣	第37回アラブ女性委員会出席
3月11～13日	ルワンダ	カウアーン報道大臣	第11回AU放送機関総会に出席
3月11～1	米国	エッダリア国民連	第62回「国連婦人の地

7日		帯・家族・女性大臣	位委員会」出席
3月18～23日	ブラジル	ネシブ水資源大臣	第8回世界水フォーラムに出席
3月20～22日	スペイン	ハメル警察庁長官／AFRIPOL 総裁	世界国境治安会議に出席。イグレスィアス・スペイン警察庁長官と会談
3月20～21日	ルワンダ	ウーヤヒヤ首相	ブーテフリカ大統領の代理としてAU臨時総会に出席。サル・セネガル大統領、マグフリ・タンザニア大統領及びニュシ・モザンビーク大統領と会談。
3月20～21日	ルワンダ	メサヘル外務大臣	AU臨時総会に出席
3月20～21日	ルワンダ	ベンメラディ商業大臣	AU臨時総会に出席
3月23日	ブルガリア	メサヘル外務大臣	サハリエヴァ外相と会談。カラヤンチェヴァ国民議会議長及びラデフ大統領を表敬。
3月24～27日	スイス	ベンサラ国民評議会議長	第138回列国議会同盟会合に出席。バロン列国議会同盟議長、カッサマ・アフリカ議会同盟議長、コド・全アフリカ議会議長と会談
3月24日	セルビア	メサヘル外務大臣	ダチッチ副首相兼外務大臣、ルジャジッチ商業・観光・遠隔通信大臣及びジョルジェビッチ労働・雇用・社会問題・退役軍人大臣と会談。ブルナビッチ首相及びブチッチ大統領を表敬
3月26日	クロアチア	メサヘル外務大臣	ジャンドロコビッチ議会

			議長、ブリッチ副首相兼外務大臣及びコルジネク文化大臣と会談。プレニコヴィッチ首相及びキタロビッチ大統領を表敬
3月31日	モーリタニア	アヤディー外務次官	サヘル地域戦略協議の第2回会合に出席

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国・機関等	氏名・肩書き	目的
2月28日～ 3月2日	アラブ連盟	サルミー・アラブ議会議長	ブハジャ国民議会議長メサヘル外務大臣及びジャアファリー国民評議会副議長と会談
3月4～7日	サウジアラビア	アブドルアジーズ・ビン・サウド・ビン・ナーイフ・ビン・アブドルアジーズ・アール・サウド内務大臣	ベドゥイ内務・地方自治・国土整備大臣、ルー法務・国璽大臣と会談。ブーテフリカ大統領、ベンサラ国民評議会議長、ウーヤヒヤ首相を表敬。アラブ内相会合に出席
3月4～6日	デンマーク	サムエルソン外務大臣	メサヘル外務大臣及びギトウーニ・エネルギー大臣と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬。ビジネス・フォーラム開催
3月4～8日	アラブ連盟	クマン・アラブ内相会議事務局長	ベドゥイ内務大臣と会談。アラブ内相会合に出席
3月4日	インドネシア	アルカンドラ・エネルギー・鉱物資源副大臣	シェルフィ・エネルギー省次官と会談
3月7～8日	カタール	アブドッラー首相兼内相	アラブ内相会合に出席。ウーヤヒヤ首相と会談
3月7～8日	パレスチナ	ハムダッラー首相兼内相	アラブ内相会合に出席。ウーヤヒヤ首相と会談

3月10～12日	AU	ファキ・AU委員会委員長	ウーヤヒヤ首相，メサヘル外務大臣と会談。
2月27日～3月12日	IMF	ドーファン・中東・アジア局マグレブ部長兼アルジェリア・ミッション代表	ウーヤヒヤ首相を表敬
3月14～15日	フランス	コロン内務大臣	ベドゥイ内務大臣及びアイサ宗教・ワクフ大臣と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
3月17～18日	国連開発計画	ワフバ総裁補兼アラブ局長	メサヘル外務大臣を表敬
3月19～21日	NATO	アルバルゴンザレス政務・安全保障担当事務総長補	メサヘル外務大臣と会談
3月21～23日	ハンガリー	シュミット元大統領	ベンサラ国民評議会議長と会談
3月26日	チュニジア	ラアドハリ投資・開発・国際協力大臣	ウーヤヒヤ首相を表敬
3月26日	世界銀行	ガネム中東・北アフリカ地域担当副総裁	ウーヤヒヤ首相を表敬
3月26日	アラブ通貨基金	ハミディ総裁	ウーヤヒヤ首相を表敬（ラウイア財務大臣同席）
3月26～28日	フランス	ドビルパン元首相	ユースフィー産業・鉱業大臣及びルカル・アルジェリア中央銀行総裁を表敬。アルジェ高等ビジネス学院で講演
3月27日	マルタ	シクルーナ財務大臣	「中東・北アフリカ諸国における電子経済の経済成長への貢献」会議に出席。ラウイア財務大臣と会談
3月31日～4月2日	ルーマニア	メレシュカーヌ外務大臣	メサヘル外務大臣と会談。メデルシ憲法評議会

			議長及びウーヤヒヤ首相 を表敬
--	--	--	--------------------

(了)